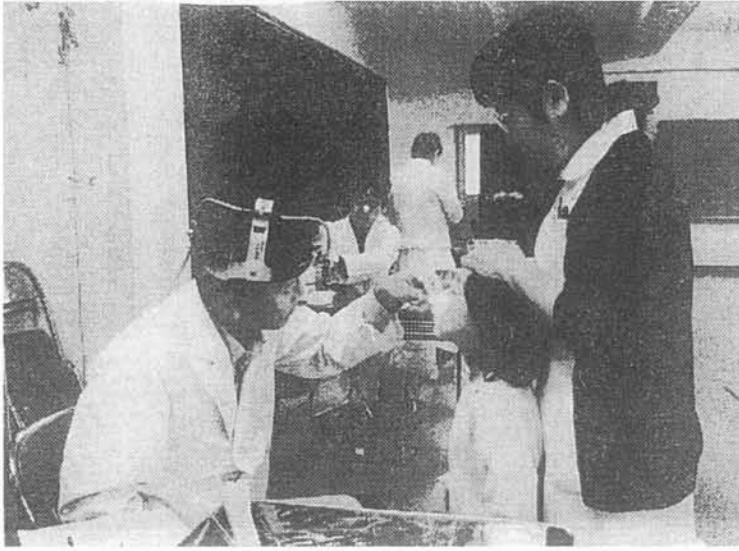


市内全校の児童生徒対象に

# 耳鼻咽喉科検診実施

教 委

## 旭川医大の協力を受け 市



市教委は旭川医科大学の協力の下、二十、二十一日の両日、市内全校の児童生徒を対象に定期健康診断の一つである耳鼻咽喉科検診を実施した。旭医大は平成九年からの学校検診のために医師を派遣しており、今年も三人の医師が八会場を巡回して児童生徒六百六十五人の検診を行った。

児童生徒の定期健康診断は、身体の異常を早期に見するため、市教委が医師団(学校医)、市保健予防係、根室歯学会(学校歯科医)、市学校検診関係団体

耳鼻咽喉科検診を受ける児童(成央小)

の協力を得て、毎年行っている。

耳鼻咽喉科検診は専門医師の不足から平成八年までは実施されていなかったが、旭医大の協力により同九年から、小学校四年生と中学校三年生を対象に検診を開始。経過観察が必要な児童生徒には毎年行っている。

今回は、一日目に花咲小、

成央小など四会場、二日目は北斗小、歯舞中など四会場で実施、二日間で市内全校(十九小中学校)の対象者六百六十五人を検診した。

医師の間診前には、旭川の医療業者が鼓膜の振動具合をグラフ化する耳の検査

を行い、同医大耳鼻咽喉科・頭蓋部外科の林達哉医師、太田亮医師、大高隆輝医師の三人が子ども一人ひとりに鼻のつまりやアレルギーがないかなどを問診しながら検診を進めた。

(須貝)